



川口けいすけの **グリーンス川越**

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室
TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

53
since 2003

行政情報の「見える化」

・文中の*は4Pに用語解説あり。

6月議会川口の一般質問より

見直しが必要な情報公開条例

国が平成13年にいわゆる情報公開法を施行するころには、すでに多くの地方自治体が同条例を制定していました。そのため国は、一般的な情報公開条例に比べ、更なる情報公開を進めるための法律を制定しました。

これにより、地方自治体は情報公開法の趣旨を踏まえ、情報公開を一層推進するための条例改正を求められています。具体的には、

- ① すべての行政機関が対象となっていること。
- ② 誰もが公文書の公開を請求できること。
- ③ 原則開示を義務として明確にしていること。
- ④ 自治体が外郭団体*の情報公開を推進すること。

などが挙げられています。

そこで私は、川越市の情報公開条例に見ることが出来ない「行政情報は公開が原則であり、何人もそれを知る権利がある。そして行政は説明する義務がある。」という権利義務の関係を条文上で明らかにすることなどを求め、市の考え方を問いました。

市は当初「現状、条文上になくとも運用面で対応しており問題はない。」という姿勢を崩しませんでした。市長からは「検討の余地がある部分もある」旨の答弁を得ましたので、これからの市の対応に期待したいと思います。

発言者を記載しない会議録

川越市には審議会や協議会、〇〇委員会と名の付く会議が100近くありますが、その約半数の会議では会議録が要旨のみの記録となっており、発言者の名前すら分らない会議録となっています。これは法律や条例に基づき行われる重要な会議においても同様です。

私は発言者はもちろん、できる限り全文に近い

形で会議録を残すべきと訴えましたが、研究・検討をしていくとの答弁に意欲は見えませんでした。これについては、今後も訴えを続けていきます。

予算編成過程の公開第2弾!

ブラックボックスとも呼ばれる予算編成過程ですが、2009年12月議会の一般質問で提言し(この紙面では43号に記載)現在ある程度の段階まで公開されるようになりました。今回は第2弾として、さらに一層の公開を求めました。

これまで款別*の予算要求のみが公開(歳入であれば市税・地方交付税など、歳出であれば総務費・民生費など)されていましたが、部局別や特別会計*についても詳細な公開を求め、さらに外郭団体も市と極めて深い関係にあることから、公開を求めるべきと提言しました。

市は部局別や特別会計について、出来る所から積極的に発信していきたい、また外郭団体についても公開の必要性を認め、積極的に情報発信するよう求めるとのことでした。

予算書もわかりやすく!

誰が見ても難解な予算書ですが、収めた税金はどんな事業に使われているのか、国や県の補助金はどう使われているかなど、市民の関心は高く、市の施策を理解してもらうためにはこれを分かりやすく伝える努力が必要です。そこで

今後は、難しい言葉が多い予算書に解説や用語説明をつけることや概要版のリニューアルを求めました。答弁

は「どちらも行っていき期待の持てる内容でした。」

